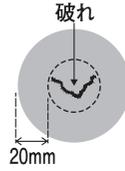


生地の修理方法 ※リペアシート以外の修理用品はお客様でご用意してください。

※接着剤は市販の「ナイロン、軟質塩化ビニル用接着剤」を使用してください。

1.小さな破れの場合

- ①修理をする面の土、ゴミ、油等の汚れを、消毒用アルコールを含ませたウエスで落としておきます。シンナーは本製品を痛めるので使用しないでください。
 - ②本製品の接着面をサンドペーパー#100で研磨して粗します。その後もう一度消毒用アルコールを含ませたウエスで油分を取り除きます。
 - ③本製品の穴、破れの大きさにあわせて付属のリペアシートをカットします。大きさは穴、破れに対して+20mm程度を目安にします(右図参照)。
 - ④リペアシートの接着面をサンドペーパー#100で研磨して粗らして消毒用アルコールで油分を取り除きます。
 - ⑤リペアシートの大きさより5mm程度大きく本製品をマスキングテープで囲います。
 - ⑥接着剤を本製品とリペアシートに均一に塗布します。圧着し終えてからマスキングテープをはがします。
- ※接着剤の取扱いは接着剤に付属の説明書をお読みください。
※「1.小さな破れの場合」以上の大きな破れの修理は、下記の(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。

**2.ピンホール(針穴)の場合**

目視できるような破れがないにも関わらず、緩やかに空気が抜ける場合はごく小さなピンホール(針穴)が開いている可能性があります(針穴が開いていなくても温度変化により本製品の空気が収縮する場合があります)。

- ①空気を入れ、空気の漏れる音が出ていないかチェックしてください。
- ②穴を発見出来たら「1.小さな破れの場合」と同じ要領で修理します。
- ③それでも穴が目視できない場合は、石鹼水をスプレーするか、石鹼水を含んだスポンジで本体を拭き、気泡が出ている場所を特定します。
- ④穴を発見出来たら、石鹼水を完全にに取り除き、「1.小さな破れの場合」と同じ要領で修理します。

保管方法

- 本製品を保管する際は、完全に空気を抜き、常温で乾燥した状態で折り曲げないでください。また、高温多湿や、直射日光が当たる場所では保管しないでください。

廃棄方法

- 廃棄方法はお客様の自治体の収集方法に従ってください。

アフターサービス

お問い合わせいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お問い合わせいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご希望により有償にて修理させていただきます。

仕様・サイズ

品番:1830408 品名:エアボード 130X 適合身長:125~190cm 適合体重:~100kg
素材:トップ/ナイロン(ポリウレタンコーティング) 底・レール部/塩化ビニル

その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

取扱説明書**エアボード X シリーズ****AIR BOARD X SERIES**

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

ただし、本説明書は本製品の基本的な使用方法を示すものです。安全な条件のもとで十分な練習を行い、正しい使用方法を習得してください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

特長

本製品は空気を入れるだけで簡単に組み立てが出来る雪用のソリです。空気を抜くと、驚くほどコンパクトに折りたためます。

本製品は製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。

各部の名称

※写真はエアボード130Xです。

■ 安全上の注意 必ずお読みください

保護者の方へ

- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子さまが理解できるようにご説明ください。
- 本製品は適合身長・適合体重が設定されていますが、適合範囲内でも操作の出来ないお子さまは絶対に使用しないでください。ケガや事故の恐れがあります。

⚠ 危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品は本人と周囲にいる全ての人にとって危険が生じます。常識的な行動や、制御できるスピードを常に保ってください。本取扱説明書にある注意事項を守ることによってケガや死亡の可能性を減らすことはできますが、完全に無くすることはできないという事を十分にご理解いただいた上でご使用ください。
- 本製品は、製品の特性上、本体に強い負担がかかるような激しい使用方法には適しません。ジャンプをしたり、岩肌の露出した雪面を滑走するなど、本体に強い衝撃を与えると破損します。このような行為は絶対にしないでください。
- 飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用して本製品を使用しないでください。ケガや事故の恐れがあります。

⚠ 警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- ウインタースポーツ用ヘルメット、ゴーグル、グローブ、エルボーパッド、ニーパッド、丈夫なウインターシューズ、ブーツなどの保護用のウエアを着用してください。着用しない場合、怪我をする恐れがあります。
- 安全な場所で操作方法を十分に練習してから使用してください。操作に不慣れだとケガや事故の恐れがあります。
- 使用する前にコースや斜面下の停止位置の安全を確認できる場所で使用してください。確認が不十分だとケガや事故の恐れがあります。
- 本製品にはブレーキはありません。ターンをしながらスピードを調節し、山側に体重をかけて停止する必要があります。スピード調節や停止が不十分だとケガや事故の恐れがあります。
- 視界が悪い時や急な斜面、アイスバーンなどでは使用しないでください。ケガや事故の恐れがあります。
- 本製品だけが滑り落ちないように必ずハンドリッシュを付けてください。他人にケガを負わせたり、事故が起こる恐れがあります。
- 人ごみや一般道路、木や岩などの障害物の近くでは使用しないでください。ケガや事故の恐れがあります。
- 本製品の適合身長・体重以外の方は使用しないでください。ケガや事故、破損の恐れがあります。
- お子さまがご使用になる際は、保護者の方が本説明書をよくお読みになり、お子様が理解できるようにご説明し、使用方法を理解したかどうかを確認のうえ、必ず保護者の監視下でご使用ください。お子さま同士や、一人だけの使用は絶対におやめください。
- 本製品は冬に雪の斜面で滑走する目的で作られています。その他の目的（ウォータースポーツなど）では使用しないでください。
- 本製品は一人用です。複数の人数で使用しないでください。
- 本製品は、安全が確保された場所、特別に指定されたスキー場で使用してください。
- 本製品を原動機付きの乗り物で牽引しないでください。
- 本製品の改造はしないでください。ケガや事故、破損の恐れがあります。

⚠ 注意 人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 標高の高い場所に移動する前は空気を入れしないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- 許容最大圧力 (0.05bar/0.7psi) 以上に空気を入れしないでください。空気を入れるには専用のポンプを使用し、絶対にエアコンプレッサー、二酸化炭素ポンプ、高圧圧縮空気などは使用しないでください。また、圧力に関しては販売店に相談してください。
- 直射日光や火などの熱に近づけないでください。過圧状態となり破損の恐れがあります。
- ナイフ、岩、スキーポール、登山用具などの鋭利なものや 40℃以上の熱に接触させないでください。破損の恐れがあります。
- 保管する際は、完全に空気を抜き、常温で乾燥した状態で折り曲げないでください。また、高温多湿や、直射日光が当たる場所では保管しないでください。
- 本体生地は熱に弱い性質を持った合成繊維です。たき火やストーブなどを近づけないようご注意ください。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。
- 完全に空気の入った本製品を冷所から急に暖かい場所に移動させると破裂する恐れがあります（例：スキー場から屋内のレストランや更衣室などの暖かいところへ移動）。

■ 使用前の点検 使用にあたっては、毎回必ず次のことを確かめてください。異常が見られた場合は使用しないでください。

- 本体に傷や破れがないか

■ 使用方法

○ 組み立て方法

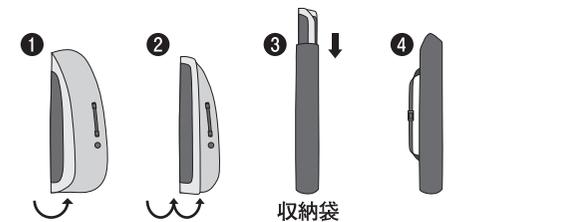
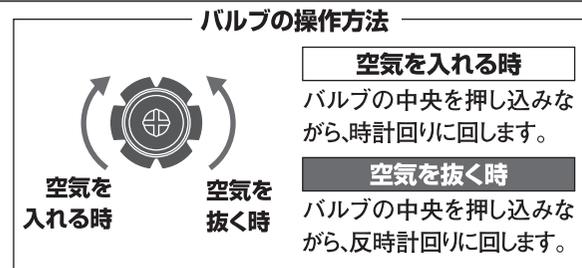
- ① 付属のハンドポンプを組み立てます。
- ② 本製品のバルブの上部の蓋を開き、ハンドポンプで空気を入れます(右図参照)。
- ③ 空気が入ったらバルブの蓋を閉めてください。

○ 操作方法

体重移動により方向転換を行い、進行方向より垂直にターンすることによりブレーキをかけます。

○ 収納方法

空気を抜き、右図の順序で収納袋に収納します。



⚠ 注意

- 空気が少ないと本体が適切に膨らまないだけでなく、本体の剛性が落ち、走行するのに危険な状態になります。
- 空気を入れすぎると太陽光などでさらに空気が膨張しバースト(破裂)することがあります。
- バルブの蓋は必ず閉めて使用してください。蓋を開けたまま使用するとバルブ内に雪や水、砂などの異物が入りバルブの機能を低下させる原因になります。

■ お手入れ方法 間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 本製品の汚れは、スポンジやブラシ等で水洗いします。スチールたわし等は本製品が傷つきますので使用しないようにしてください。またシンナー等の溶剤は本製品を侵しますので使用しないようにしてください。洗淨後は十分に乾燥させてから収納してください。乾燥が不十分な場合カビが発生する恐れがあります。